

学校だより

教育目標：豊かな知性を育て きびしく自己をきたえ 高め合う生徒

校訓：明朗 闊達 質朴 目指す生徒像：し ば た か じ か わ の 生徒

かじかわ

- か かかわり、いい関係をつくる生徒
- じ 自信のつく事実を積み上げる生徒
- か かけがえのない自分、どう生きるかを問い続ける生徒
- わ 分らなさを大事にし、分かるまで、考え追究する生徒

- し 思考し学び合う生徒
- ば 場と時を大切に作る生徒
- た 大夢を抱く生徒

新発田市立加治川中学校 令和3年10月12日 第10号

□「承認・寛容・支援・受容・傾聴のモード」～家庭と学校の連携～ 校長 星 渉

9月17日（金）に工藤ひとし教育長様から全校授業（生徒対象）とPTA講演会（保護者・教職員対象）をしていただきました。とても学びの多い時間であり、次の2つを掲載します。

全校授業 『ひとが第一、ひとが大事
～いじめが起きないために～』
PTA講演会 『ひとが第一、ひとが大事
～思いやりの心を育てる思春期の子育て～』

1つ目は工藤教育長様からの全校授業の称賛メッセージです。

（略）本当に素晴らしい生徒達でした。挨拶、表情、笑顔、挙手、返事、質問、拍手全てが正に中学生らしい清々しさ、爽やかでした。（略）

自己開示の質問や親との関係、友だちの心配など、愛おしくなる生徒さんでした。（略）

生徒と保護者の感想を読ませて頂き、特に子ども達の自己開示があり、「自分を大事にしよう」とか、「自分を大事にできなかったら、人も相手も大事にできない」とか、「挨拶は大事なんだ」とか、「自分の心の声を大事にしたい」とか、私のメッセージをしっかり受け止めてくれて、こちらこそ感謝したいです。やっぱり、子どもはいいね！素直で。（略）聴く耳が育っていますね。嬉しい限りです。（略）

新発田市教育委員会 工藤ひとし

2つ目は工藤教育長様のPTA講演会を参考に作成した資料です。モードを揃えたいものです。

家庭と学校で子どもの自己肯定感を育む「承認・寛容・支援・受容・傾聴のモード」

家庭・親

大切な笑顔

家族 どんな時でも、優しい顔で「本当はいい子なのだ」「お前がいるから、私は幸せだ」「だから人に迷惑をかけてはいけないよ」と言い続けること

- ・心の中の笑顔は、一生の宝物。
- ・心の中でいつも怒っている顔がいたら。
- ・心の中でいつも責めている顔があったら。
- ・一生を通して心を支えるところ、基地
- ・家族の笑顔が最も大きなご褒美
- ・宝は、子どもの心の中にいつまでも光っている。笑う顔に矢立たず。笑顔は人の薬

- ・子どもの行動の意味をくみ取る。行動には必ず理由がある。
- ・大人から愛され、受け止められているという実感を持つ経験が子どもの自己肯定感を育て、自信や意欲につながる。
- ・「ありのままの自分でいいんだ」「自分が大好き」という実感
- ・「独りぼっちじゃない、仲間がいる、家族がいる」という信頼
- ・「私は私の人生の主人公。私のことは私が選ぶ」という自信

教育で大事なことは

- ・「変化の激しいこれからの時代を生きる子どもたちに必要な力」「様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となるだけができる」ような強い力を育てることだけではない。
- ・人の弱さや痛み、悲しみや孤独などを、分かる力や思いやる力も、人として、また教育において、限りなく大事である。

学校・教師

○教師の笑顔がどれだけ生徒の心の安定と教室全体の柔らかい関係を醸成することにつながるか。

- 教室全体が和む瞬間、生徒が笑顔になる瞬間は最高の教育的瞬間である。
- 生徒を温かいまなざしで見つめ、生徒の笑顔の瞬間や変化を見逃さない。

○教師の愛ややさしさを感じ、受容され受け止められているという実感をもつことができれば、生徒の自己肯定感が育ち、自信や意欲につながる。

- 「一人も独りにしない」「120%支え合う」ことで仲間から受け止められているという実感を育みたい。
- 自分たちで考え決め 成功させる喜びを体感させたい。

○数値学力を超えた人間力や道徳性、生き方も含めた人間力を育む。

- 仲間とかかわり、共同で探究できる集団を授業の中で育てる。
- うまくいかないことや苦しみや悲しみを感じながら、でも、みんなを支え合い、協力して乗り越えようとする姿勢を育てたい。

※家庭と学校のモード連携資料

□生き方授業③本宮宏美コンサート～困難を乗り越え夢を仕事に～ 10月7日(木)

『本宮宏美コンサート～困難を乗り越え夢を仕事に～』を本年度3回目の生き方授業兼PTA教養部事業としてを行いました。フルートとの出会いは吹奏楽部に入部した中学1年であり、どうしてもフルートがやりたくて「マイ楽器があります」と嘘をついてしまった。すぐに貯めたお年玉を使って5万円のフルートを購入したエピソードトークからコンサートが始まりました。今までにない仕事を自分で作るなど新たな生き方モデルとして参考となるお話をいただきました。以下生徒の振り返りを紹介します

プロフィール

- ・ 笛人 本宮宏美 (もとみやひろみ) フルード奏者、作曲家
- ・ 左足に障害をもって生まれ幼い頃から音楽家になろうと決意
- ・ 世界的にも稀なフルーティスト・ソングライター (笛人)
- ・ NHK「チョコちゃんに叱られる」、日本テレビ「ザ!世界仰天ニュース」、TBS「世界ふしぎ発見!」などの全国放送の30番組以上に楽曲を提供
- ・ 今は新潟に居て、日本全国や世界に発信して仕事をしている



(略) フルード奏者は珍しい仕事ですが、本宮さんは豊かな創造力があつたからこの仕事を実現できたと思います。お話でも「人の役に立ちたい」という理由があつて、とてもプラスの考え方をしているんだなと感じました。自分の仕事をやりたい理由は「お金がたくさんほしいから」とお金のことしか考えられませんでした。でも、本宮さんの話を聴いて「仕事をやりたい理由」が変わつたように感じました。私は怪物が好きなので、自分で怪物に関する仕事をつくって、日本の怪物のよさを感じてほしいです。

1年生 齋藤 愛裕さん

(略) 印象に残つたことが2つあります。1つ目は「できないことがあるのは、できることを見つけるチャンスだ」というお話です。今までそう考えたことがなかったので、そういう考えもあるんだなと思いました。2つ目はA Whole New Worldの演奏です。吹奏楽部でもこの曲を練習しているから、本宮さんたちの演奏を聴いて、とてもきれいな音色で、自分はまだまだだなと思いました。桜加祭まで1カ月を切つたので、少しでも上手に吹けるように頑張りたいです。

2年生 須貝 陽菜さん



本宮さんの演奏は、フルートをまったく吹けなかったとは思えないほどパワフルかつ繊細で上手でした。鳥肌が立ちました。(略)「できないことがあると、逆にできることを見つけるきっかけになる」という話が印象に残りました。できないことを嘆くのではなく、ならば自分にはどうことができるのかを考え、日々進化していきたいと思いました。そして、周りにとらわれず、自分の未来は自分で決め、幸せな未来をつかみ取りたいと思いました。家に帰ったら、本宮さんの曲をユーチューブで調べようと思います。

3年生 高橋 優介さん

「いじめ見逃しゼロ県民の集い」リモートディスカッション

9月18日(土)

9月18日(土)は「いじめ見逃しゼロ県民の集い」がリモートディスカッションで行われ、本校3年生の生徒会総務委員である下條和穂さんが代表で参加しました。

進行役を新津高等学校の生徒が行い、県内の小学校2校、中学校2校、高等学校2校、中等教育学校1校の計8ヶ校が参加して行われました。

下條さんはノー原稿で自分の言葉で話しており、とても立派でした。後日、下條さんから取材をした内容を以下に掲載します。

なお、この事業は新潟県教育委員会の生徒指導課が中心となって行っているもので、今回、加治川中に参加依頼がありました。

子どもたちと一緒に、いじめ問題について考え、
「いじめをしない、見逃さない、許さない」との思いを共有しませんか

いじめ見逃しゼロ 県民の集い

令和3年度のいじめ見逃しゼロ県民の集いは、いじめの問題に関する、子どもたちの
リモートディスカッションの様子も、YouTubeで動画配信します。

YouTubeで、リモートディスカッション!!

動画配信：YouTube公式チャンネル「新潟県いじめ見逃しゼロチャンネル」

配信日時：令和3年9月18日(土) 午後2時00分～午後3時00分(予定)

テーマ：いじめを受けている友達のために私たちができごと

視聴方法：動画は、ライブ配信後1ヶ月間(10月17日(日)まで)、下記URLにて公開。
視聴の際は、QRコードからアクセスしてください。

URL: <https://www.youtube.com/channel/UCQd9H9wTvVfCWnTDBA>

- 進行役・県立新津高等学校
- 討議に・糸魚川市立南能小学校
- 参加し・佐渡市立相川小学校
- た学校・佐渡市立相川小学校
- ・南魚沼市立大和中学校
- ・新発田市立加治川中学校
- ・県立荒川高等学校
- ・県立燕中等教育学校

加治川中学校から
下條和穂さん
が参加

ノー原稿で**自分**
の言葉で語る

	進行役からの質問内容	下條さんの内容骨子
質問1	学校でいじめが起きたとき、周りの人はどう見たり、行動したりしていますか。また、学校で取り組んでいることはありますか。	いじめが起きたところを見たことがないので、周りの人がどうしているかは分かりません。学校で取り組んでいることは、LOVE&PEACE(いじめ見逃しゼロ集会)や全校道徳、FFK(加治川の未来を考える会)、全校レクリエーションやみんなが心を一つにできる体育祭の全校ダンスなどです。
質問2	いじめを受けている人がいたら、どうすればみんなが悲しい思いせずに過ごせると思えますか。また、普段からどうすればみんなが仲良く過ごせると思えますか。	どうすれば悲しい思いをしないのかはよく分かりません。でも、加治川中はいじめが起きないように学級や学年、全校でのレクリエーションを多く行っています。レクリエーションや行事をしてみんなで楽しむことで心がつながります。さらに、どんな時も誰一人として独りにせず、相手を大事にして尊重することで仲良くなれると思えます。
質問3	仲間に対して、また大人に対して、いじめに苦しんでいる人を出さないために何をしてほしいですか。またどういったことができると思えますか。	仲間に対しては、自分たちは仲間なので相談にのったり、味方になったりしてほしいと思えます。大人に対しては、全校道徳や全校授業で、ストレスの適切な解消方法を教えてもらったり、学校をストレスを感じない楽しい場所にしてほしいと思えます。また、生徒会活動を活発にして楽しめる行事を自分たちで創っていくことも大切だと思えます。

100

深めよう 絆 新潟県民運動 いじめ見逃しゼロ県民運動

- **この運動で育てたい4つの社会性**
- ①自己肯定感・自尊感情を含む自己有用感
- ②人間関係づくりの能力
- ③規範意識
- ④困難や難しい課題に対して、他者と協力しながら問題解決を図る意欲や態度

↓

いじめの予防・未然防止

この事業は「いじめ見逃しゼロ県民運動」の一環として行われているもので、この運動で育てたい4つの社会性は左のとおりです。これらの社会性が高まると自然にいじめの予防や未然防止につながっていきます。

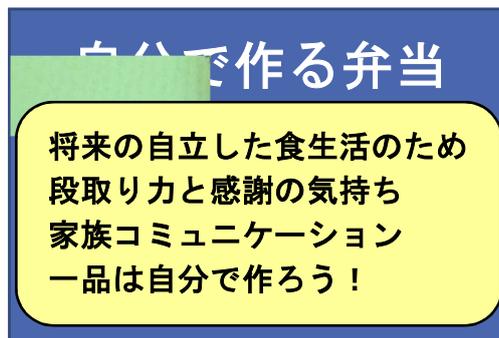
自己有用感の高い人は自分も相手も大事にできます。また、ルール(規範意識)とリレーション(人間関係)の確立した親和型学級はいじめが起こりにくいです。さらに、学校生活での困難を協力して支え合って解決したり、授業での難しい課題を他者とかかわり共同で探究したりできる意欲と態度を高めていくことが大切です。

□ 1年生「CAP」～人の安心・安全・自由を守る～ 10月4日(月)・6日(水)

10月4日(月)と6日(水)に1年生を対象にCAPが行われました。CAPは「子どもへの暴力防止プログラム」です。暴力は人の心と体を傷つける行為です。人の安心・安全・自由という基本的人権を守るという視点で話し合いをしたり、役割演技をして考えたりしました。毎年1年生で実施しています。7月26日(月)には保護者CAP、8月6日(金)には教職員CAPをそれぞれ実施しました。1年生はペアやグループで話し合ったり、積極的に発言をしたりしていました。

□「自分で作る弁当」の

9月29日(水)は新人大会が中止になったため、お弁当を持参する日となりました。加治川中学校では食育の観点から将来に備え「自分で作る弁当」を推奨しています。自分で弁当を作ると、前日からの段取り力や日頃、食事や弁当を作っている家族への感謝の気持ちが高まります。家族コミュニケーションの機会も増えます。今回、1品でも自分で作った生徒とお弁当を紹介します。



澁谷 紅葉さん

阿部 敬太さん

渋谷翔磨さん

本間 哉汰さん

鈴木 緋莉さん

□「自分で作る弁当」の推奨～将来の自立した食生活に備えて～ 9月29日(水)